

国際理事会報告

## 2018年度ICD国際理事会報告

国際理事 橋本光二

2018年度国際理事会は2018年11月26～27日の2日間午前8時～午後4時という日程で、ニューヨーク市：Javitsセンターにてグレーターニューヨーク歯科医学会大会に合わせて開催された。

出席者は国際会長はじめ執行部7名、Speaker（議長1名）、国際理事（26名）、ゲスト（5名）、事務局（3名）

- ・執行部会 11月24日（9：00～16：30）に開催（Javitsセンター）
- ・レセプション 11月24日（18：00～20：00 Sheraton NY Times Square）
- ・各種委員会（6委員会）26日（9：15～、10：45～12：00）開催（GVD委員会、100周年委員会は27日国際理事会終了後開催）
- ・新執行部委員会 27日（理事会及び各種委員会全日程・予定終了後）開催
- ・国際認証式が行われ、主にJamaica Regionの新フェロー20名が認証された（Mariott Marcus, Times Square）

### 主な議事

- 1) 新国際理事（Drs. Ted Robeson, Julio Rodoriguez, Charles Smith, Elaine Wagner）承認

- 2) 退任理事（Drs. Wayne Del Cario (USA), Paul Stubbs (USA), Frans Kroon (Netherlands), Argirinos Pissiotis (Greece), Jack MacLister (Canada)）
- 3) 役員退任 Speaker（議長）David Thmson
- 4) 理事継続（Dr. Christine Benoit, USA）
- 5) 議事録（2017年国際理事会、執行部委員会（2018年6回分）承認
- 6) 会長他各役員報告、各部会報告
- 7) GVF（国際慈善事業基金）活動
- 8) ICD/WUDAA（ワシントン大学歯学部同窓会奨学基金約1,500万円）寄付
- 9) ICD100周年記念事業計画経過報告—千田国際副会長から委員会、予算、祝賀会企画等各担当者がホテル、コンベンション、旅行社、パートナー（スポンサー）と交渉しているが、大綱につき以下のことが報告、承認された
  - ・全企画 2020年11月（11）、12、13日となる予定（1日短縮）
  - ・記念祝賀会（式典・国際認証を含む）2020年11月13日（金曜日）
  - ・国際理事会 11月12日（木曜日）1日に短縮
  - ・執行部委員会 11月11日（水曜日）



図1 会場のJAVITISセンターでの橋本国際理事



図2 退任するヨーロッパ部会国際理事に謝辞を述べる Clive Ross前国際会長



図3 挨拶するBettie Mackaig新国際会長



図4 2019年度執行部

右から、Bettie Mackaig会長（アメリカ）、千田 彰次期会長（日本）、Richard Smith副会長（アメリカ）、Keith Suchy財務担当（アメリカ）、Dov Sydney編集長、（イスラエル）、左端はClive Ross前会長

- ・シンポジウム（人道援助などに関する）11月13日（金曜日）午前中
  - ・国際理事レセプション 11月11日（水曜日）
  - ・アメリカ部会が約450万円寄付を行う予定
  - ・Henry Scheinがダイヤモンドパートナーとして1,000万円寄付
  - ・ICD本部HPに100周年のバナーボタンが設置され、100周年祝賀会の紹介ページが作られた（このページに参加申し込み等のページがリンクされる予定）
  - ・ヨーロッパ部会が理事会を14日（土曜日）に実施する予定
- 10) 各委員会（26日開催委員会の結果も含め）報告
  - 11) Myanmar部会（XIII部会）の再成立を承認（3年間は猶予期間とする）
  - 12) 南アメリカ部会（IV）について、政治、経済が不安定なこともあり年会費の納入が滞っている（執行部委員会でも代表者が釈明に来た）
  - 13) Constitution, Bylaw, Standing Rule, Policyの用語や意義を再確認し、言葉を一部変更
  - 14) アフリカのRegionの呼称を変更
  - 15) 事務局長（Secretary General）が2020年をもって退任するので、SGの仕事、責任内容を再確認し、後任候補者をSearch Committeeを結成し時

- 間をかけて選ぶ（2020年の名古屋での国際理事会までは現SGのJack Hintermanが継続する）
- 16) 各種顕彰について整理し、より厳格に顕彰する。マスター称号授与は顕彰ではなく、Membership委員会で審議する問題であり、部会がある場合は各部会が貢献などについて責任をもって判断し、それを国際理事会で承認していくべきものであることが確認された。
  - 17) 各セクションの国際理事の数について原則1名とし、部会のフェロー数が500名を超えるごとに1名を追加する事となった。これにより日本部会の国際理事は1名となった。
  - 18) 最後に新執行部が以下のように決定された。  
国際会長：Bettie McKaig（アメリカ）、次期会長：Akira Senda（日本）、前会長：Clive Ross（ニュージーランド/オーストラリア部会）、副会長：Richard Smith（前Treasurer、アメリカ）、Editor：Dov Sydney（留任）、Treasurer：Keith Suchy（アメリカ）

以上